

## これまでの検討経過について

## これまでの検討経過について

### ○第1回委員会で提案した基本構想の骨子（富山県の特徴を活かした大会の基本方針）

- (1) 富山の豊かな森を育て、未来へつなぐ
  - ①県民参加による多様な森づくりの推進
  - ②持続可能な森づくりの推進と優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の発信
- (2) 森づくりと海づくりの連携
- (3) 富山の魅力発信
- (4) 「おもてなしの心」で「温かみ」のある大会

### ○委員からの意見とその対応

委員からの意見	対応案
富山県らしい開催理念をしっかりと盛り込むべき（無花粉スギだけではもの足りない）	・基本構想(案) 第2章-2 富山県の特徴を活かした大会の基本方針として記載
林業再生が産業の発展や生活の豊かさに結びつく視点が重要	・基本構想(案) 第2章-2-(1)-②「持続可能な森づくりの推進と県産材活用による林業・木材産業の振興」を記載（追加）
ベンチなどに県産材を積極的に活用すべき	・基本構想(案) 第5章-1及び2に県産材の活用を記載 ・基本計画や実施計画策定の中で具体的に検討
広葉樹だけでなく、無花粉スギの植栽を実施すべき	・基本構想(案) 第4章-1に優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の植栽を記載 ・基本計画策定の中で具体的に検討
荒天会場についても考慮しておくべき	・基本構想(案) 第2章-5-(3)に記載
富山県は富山湾と3,000m級の立山連峰が非常に近いことから、山と海の連携が体感できる会場づくりが必要	・基本構想(案) 第2章-2-(2)に森と海の連携を記載 ・会場づくりについては、基本計画や実施計画策定の中で具体的に検討
交流会場に県内15市町村が全国に向けて、「郷土自慢」ができるスペースを確保してはどうか。	・基本計画や実施計画策定の中で具体的に検討